

ああ、神よ…
お許しください…

守衛さん、おつかれさまです。
どうぞ、飲んでください。



私は無力でした…
私は、守衛とは
名ばかりの案山子です。

あはは、
どうしたんですか
ミルクですよっ

知らなかったのです…
彼女の本当の姿を…



くくく…
これは僥倖…

だから私は、捕らえられた彼女を、
眺めることしか出来なかったのです。

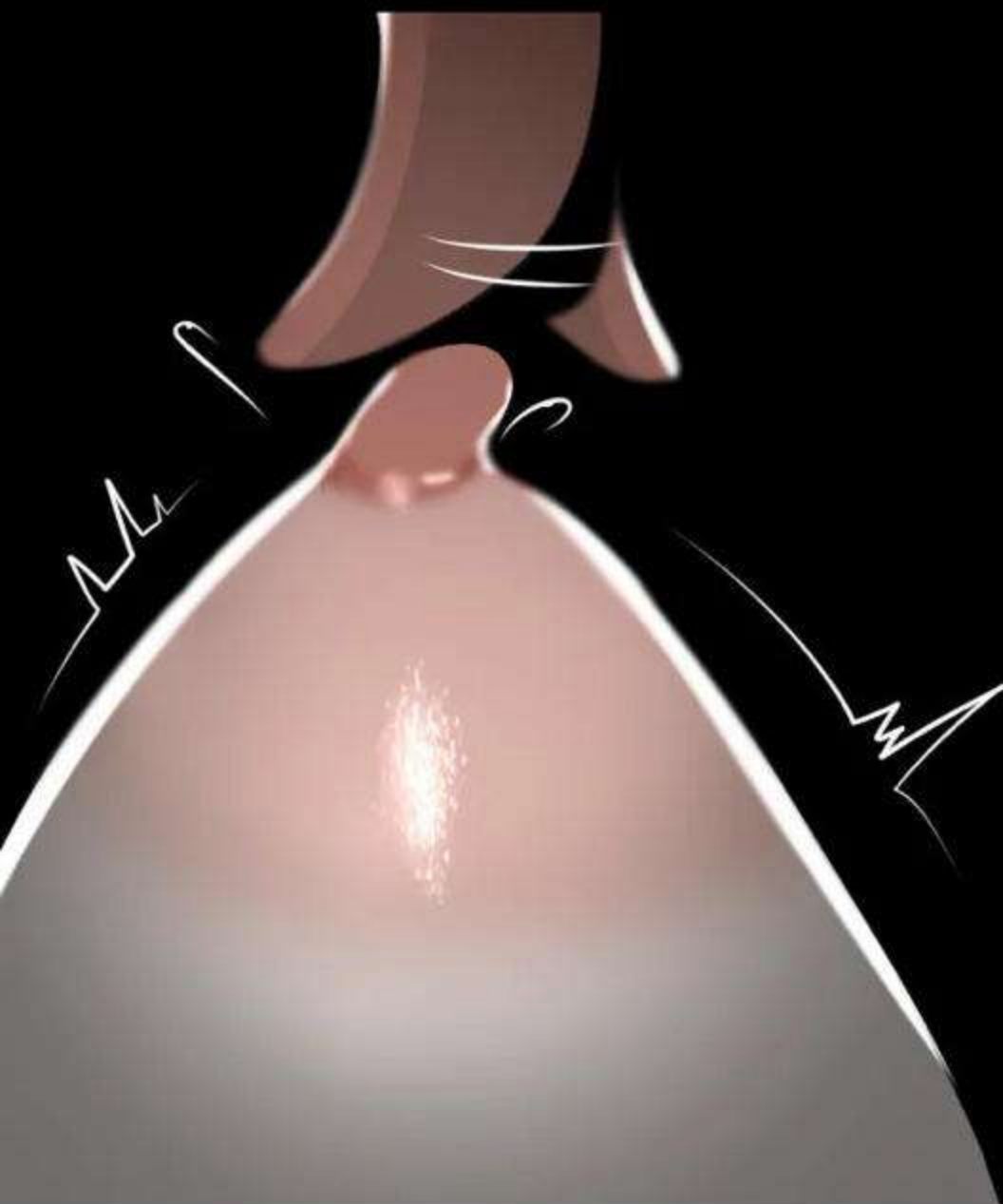
あの偉大な
小説家がねえ…



けけけけ…
尋問は体に
聞こうかな

尋問官になぶられる彼女を…

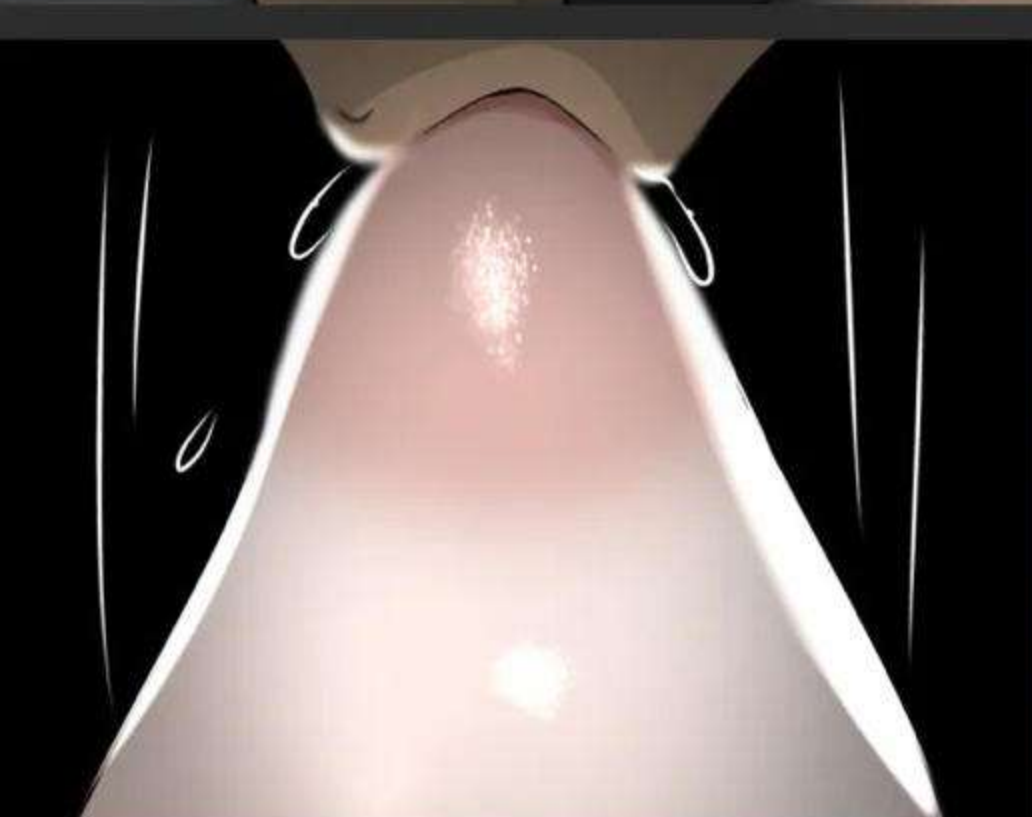




牢に響く水音と共に…



その方がっ
手間が…っ



手間が
はぶけるからねえ！

眺めるしかなかったのです…





すくはく
ああ極楽じゃ

綺麗な小説家様は
赤子を産む場所も
綺麗なのだねえ

目も耳も塞げば良いと
言わないでください：



ああ、
極楽じゃあ

この何とも言えぬ
気持良さを…

私には、無理難題です…

命の危機だったのです…

小説にして
もらおうかのあゝ



悪魔が：
目の前哀れな
少女に子を植えろと
囁くのです：

ほれいほれい♪
子作りじゃ♪





そんなこと
ないですよ
守衛さんが
いるから…

私は安心して…

憧れの彼女に…

けけけ…
見てみい♪

あの守衛
発情しとる♪

ヤレと
命令するのです…

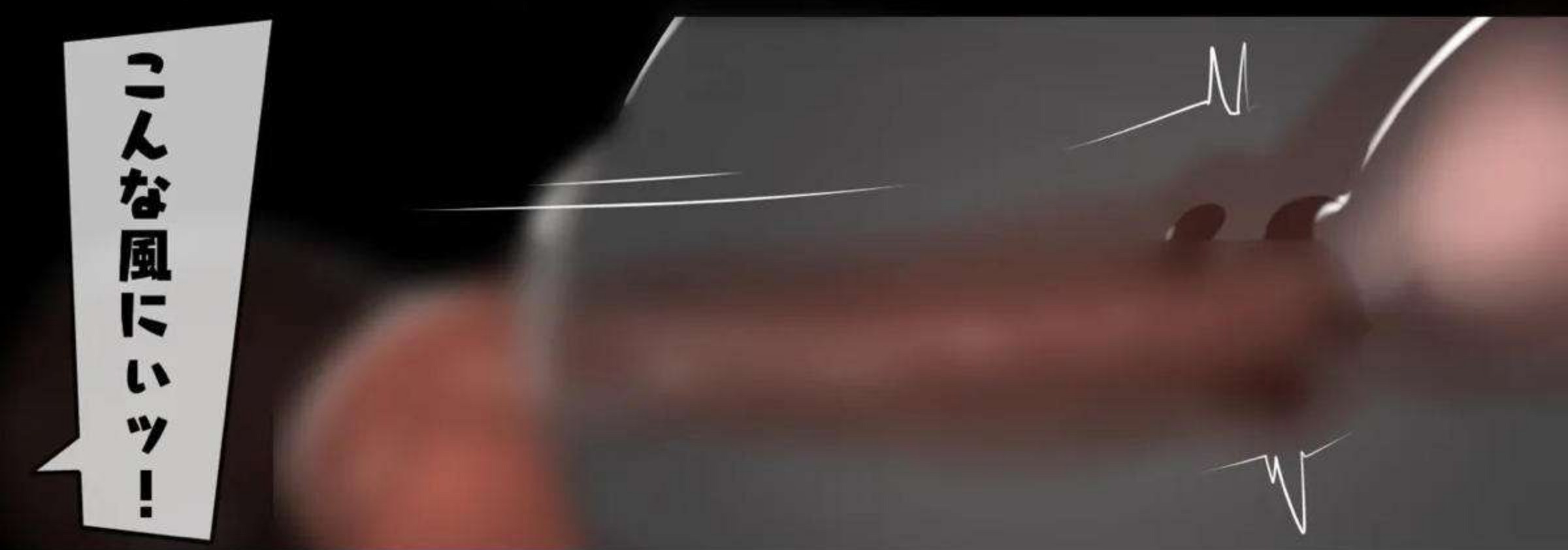


愚かにも
お前さんの
温かくて…

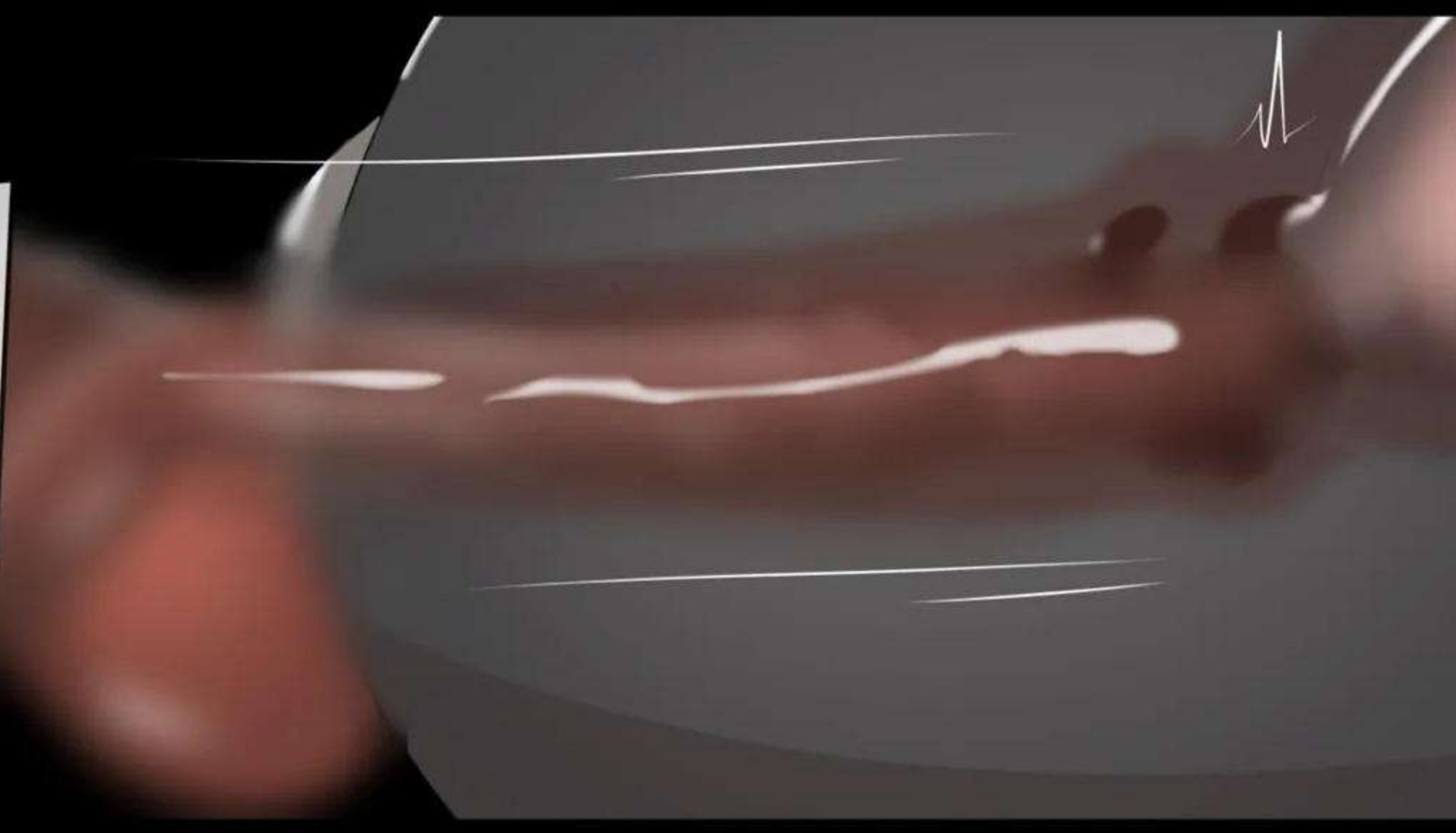


あの尋問官が
私に当て付ける様に
言うのです

赤子が握るほどの
締め付けのここに…



こんな風にいッ！

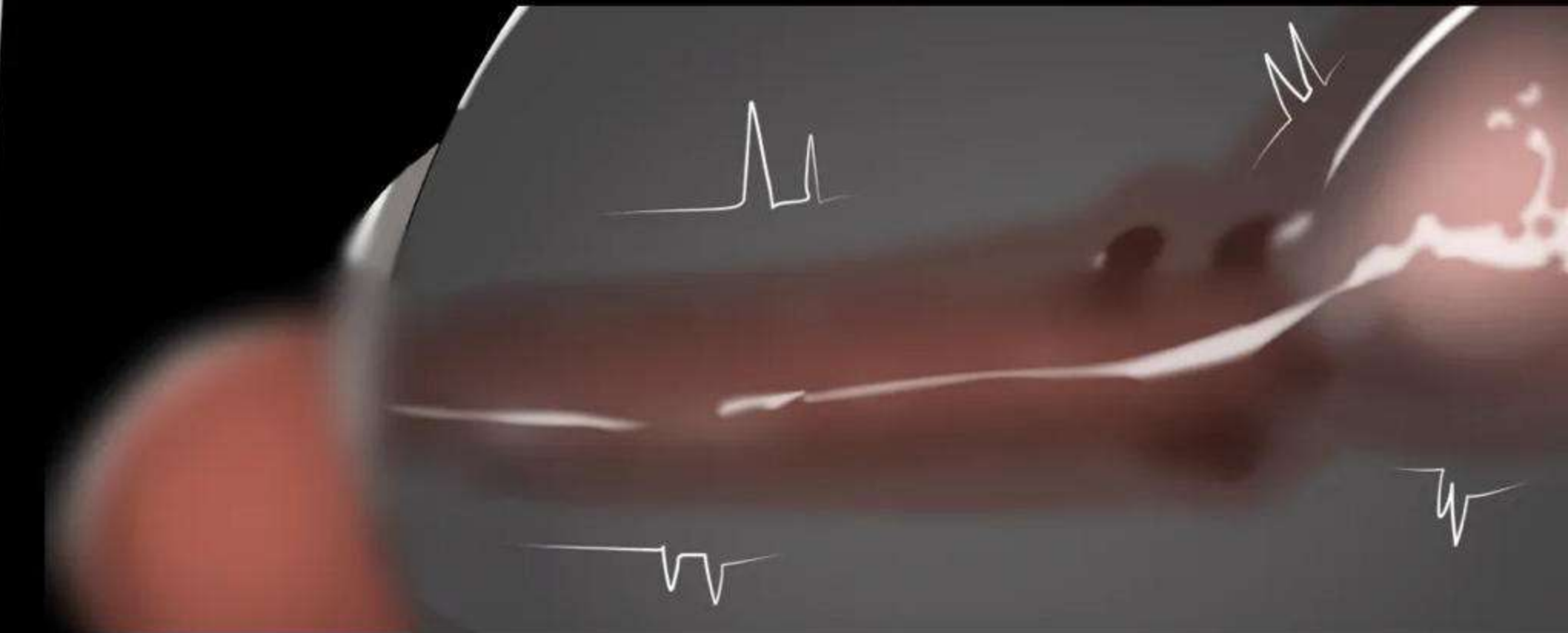
A close-up, slightly blurred image of a hand holding a white cloth. The hand is positioned in the upper right, and the cloth is draped across the frame. The background is dark and indistinct.

扱い…

A close-up, slightly blurred image of a hand holding a white cloth. The hand is positioned in the upper right, and the cloth is draped across the frame. The background is dark and indistinct.

扱きめいて…っ

だから…
お許しください
あれを罪と
言わないでください

A close-up, slightly blurred image of a hand holding a white cloth. The hand is positioned in the upper right, and the cloth is draped across the frame. The background is dark and indistinct.

鳴かせめいて…っ

仕方なかったのです。

子種をっ
植えたがってるぞっ！



だから…
お許しください…

私は無力でした…
何も知らなかった…

私は守衛とは名ばかりの
案山子でした…

なになにに…
イプシロンも
捕らえたかのか





うほほ
僥倖、僥倖♪

たぎるのお
ベータ似の
子供とお♪

イブシロン似の
子供を
産まやようやあ♪

だから絶望の淵にいる彼女を置いて
解放された私をお許しください…

しかし、それでも許されぬのなら、
あの牢の中にまた私をお戻しください。

なぜなら私は：

美しい少女たちを眺めていたのです。

士佐 かり
治道幸一様へ